

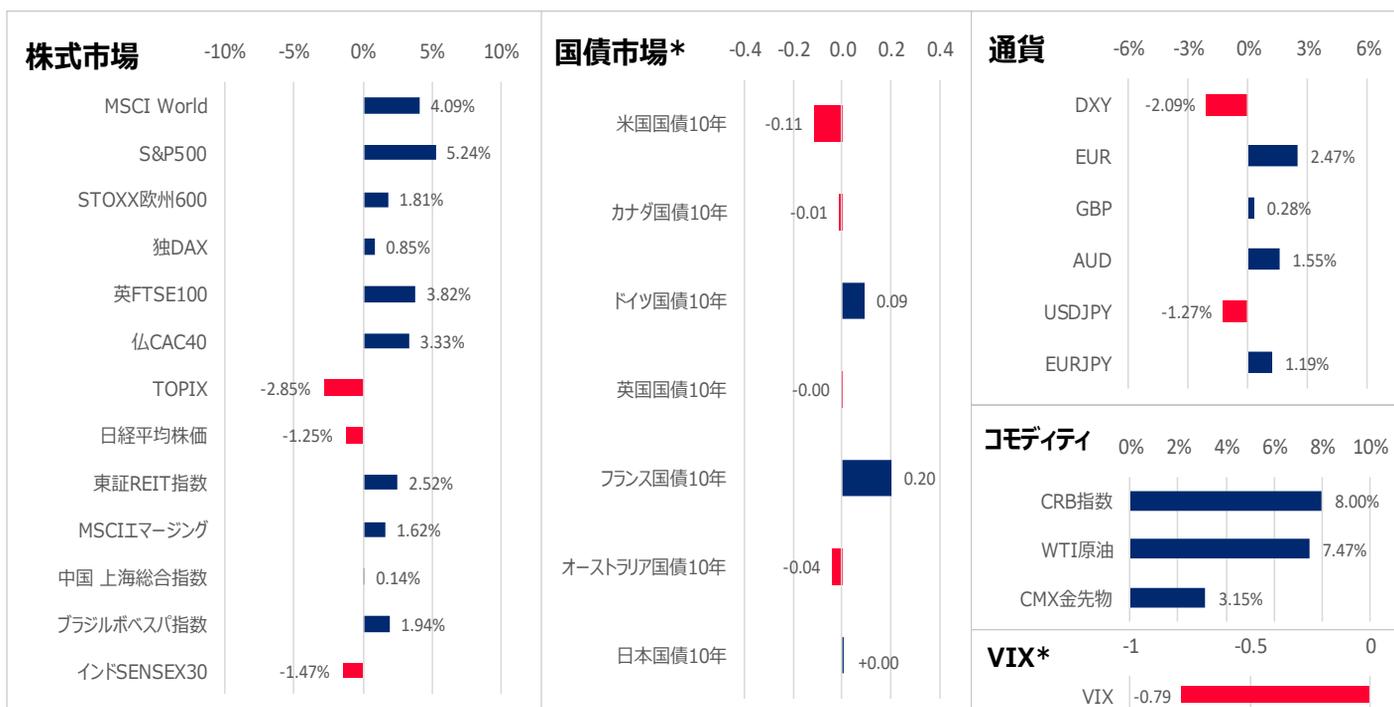
マンスリーレビュー&アウトルック

2021年5月

2021年4月の市場概況

- 新型コロナウイルスワクチンの普及を背景に世界的な景気回復期待が高まり、長期金利の上昇一服も好感されて、高値更新を繰り返す**米国株主導でグローバル株は総じて堅調**。一方、緊急事態宣言を受け**国内株は上値の重い展開**となり、新興国市場では、**感染爆発が嫌気**されて**インド株が軟調**
- 緩和縮小への警戒感が後退し、国債需給に対する懸念も和らいだこと**から**米国金利の上昇は一服**、信用スプレッド縮小もあって**社債リターンもプラス**。ユーロ域内景況感の改善やドイツ財政拡大懸念から**欧州金利は上昇し、日本国債利回りは横ばい**
- 米金利の低下を受けて**米ドルが主要通貨に対して軟調に推移**、ドル円レートは一時107円台まで下落し、月末にかけてはやや反発。米欧金利差縮小から**ユーロは対ドルで上昇し、ユーロ円は一時132円台まで円安が進んだ**
- 原油需要の回復期待や米経済成長の加速を背景に**原油価格は堅調**。**米金利低下が下支え**となって、**金価格は上昇基調をたどった**。**VIX指数は月初低下した後、低位横ばい推移**

2021年4月（3/31～4/30）のグローバル市場動向



※前月末比騰落率、*は騰落幅

プラス要因



- 新型コロナウイルスワクチンの普及、集団免疫獲得による感染収束
- 追加経済対策/ロックダウン終了による景気見通しの改善
- 企業業績見通しの改善

マイナス要因



- 新興国を中心とした新型コロナウイルスの感染爆発
- 早期テーパリング、インフレ懸念による米金利の大幅な上昇
- 米追加財政政策の難航

	2021/4/30	過去1か月	3か月	年初来
MSCI World (現地通貨建て)	9,610.34	4.09%	11.44%	10.61%
S&P500	4,181.17	5.24%	12.57%	11.32%
STOXX欧州600	437.39	1.81%	10.49%	9.61%
独DAX	15,135.91	0.85%	12.68%	10.33%
英FTSE100	6,969.81	3.82%	8.78%	7.88%
仏CAC40	6,269.48	3.33%	16.12%	12.93%
TOPIX	1,898.24	-2.85%	4.95%	5.18%
日経平均株価	28,812.63	-1.25%	4.15%	4.99%
東証REIT指数	2,063.80	2.52%	11.77%	15.69%
MSCIマーキング (現地通貨建て)	179,876.00	1.62%	1.80%	5.70%
中国 上海総合指数	3,446.86	0.14%	-1.04%	-0.75%
ブラジルボベスパ指数	118,893.80	1.94%	3.33%	-0.10%
インドSENSEX30	48,782.36	-1.47%	5.39%	2.16%

国内株式：米国株に連れ日本株は上昇基調をたどり、日経平均株価は再び30,000円台を付ける場面もあったが、中旬以降は新型コロナ変異種ウイルスの感染拡大が嫌気されて反落。月末にかけては緊急事態宣言を受け上値の重い展開。米株一段高から日本株が上値を試す場面もあろうが、好調な業績は織り込み済みで、目先、ワクチン接種の遅れや感染再拡大が株価の重石となる展開を想定。

米国株式：米連邦準備理事会（FRB）による金融緩和スタンスの再確認や長期金利の低下、また、景気回復を示唆する指標も好感されて米国株は上昇基調、バイデン政権の追加財政計画も下支えとなって、主要株価指数は月末にかけ最高値を更新した。好調な企業業績や景気回復期待を背景にリスク選好の動きが続き、米国株は総じて堅調な地合いが継続する見込み。

欧州株式：ユーロ圏の景気見通し改善や米株高を背景に欧州株は堅調に推移。新興国での感染拡大から弱含む場面もあったが、好調な決算や金融緩和スタンスの明示が下支えとなって、ストックス欧州600指数は高値を更新。ワクチン接種のペース加速に伴い行動規制の緩和が見込まれ、業績回復がサポートとなって欧州市場の株高基調は継続の見通し。

新興国株式：世界的な景気回復期待を背景に新興国株は上昇。中国株は小幅高にとどまったが、商品市況の堅調を受け資源国市場が上昇を主導した。感染爆発が嫌気されたインド株は下落。ワクチン接種の遅れが新興国経済の先行き不透明感を高めており、短期的には値動きの荒い相場を想定するが、世界的な金融緩和や先進国主導の景気回復が下支えとなって、新興国株は底堅い展開を見込む。

債券

プラス要因



- 主要中銀による金融緩和の長期化、緩和縮小観測の後退
- 新型コロナ変異種ウイルス感染拡大と行動規制の再強化
- 低インフレ環境の継続

マイナス要因



- 大規模経済対策に伴う財政悪化/国債増発
- 集団免疫獲得に伴う経済活動正常化
- インフレ圧力上昇による早期テーパリング観測

	2021/4/30	過去1か月	3か月	年初来
(国債利回り)	(利回り %)		(利回り騰落幅)	
米国国債10年	1.63	-0.11	0.56	0.71
カナダ国債10年	1.54	-0.01	0.66	0.87
ドイツ国債10年	-0.20	0.09	0.32	0.37
英国国債10年	0.84	-0.00	0.52	0.65
フランス国債10年	0.16	0.20	0.44	0.50
オーストラリア国債10年	1.75	-0.04	0.61	0.78
日本国債10年	0.10	0.00	0.04	0.08
		(トータルリターン…騰落率、スプレッド…騰落幅)		
USD投資適格社債_トータルリターン		1.16%	-2.82%	-4.48%
USD投資適格社債_対米国債スプレッド	+0.96	-0.02	-0.09	-0.06
USDハイイールド社債_トータルリターン		1.09%	1.61%	1.95%
USDハイイールド社債_対米国債スプレッド	+2.91	-0.19	-0.71	-0.69

※対米国債スプレッドとは米国債との利回り格差

日本国債：日銀による国債買入れ減額を受け国債利回りが小幅上昇する場面もあったものの、国内の新型コロナ変異種ウイルスの感染拡大から利回りは低下に向かった。緊急事態宣言の延長を受けて景気の不透明感が高まる中、インフレ率は目標を大きく下回る状況が続くと見られ、長期国債利回りは低位安定推移を見込む。

米国債：早期緩和縮小への警戒感が後退し、また、国債需給悪化の懸念が和らいだことから米国債利回りの上昇は一服、10年国債利回りは一時1.5%台まで低下した。月末にかけては堅調な経済指標を受け利回りは再び上昇した。景気回復に伴うインフレ警戒感が高まりつつあるものの、量的緩和の長期化が下支えとなって、利回り上昇は緩やかなペースにとどまる見通し。

欧州債：ユーロ圏景況感の改善や、独財政規律緩和の思惑から欧州国債利回りは上昇基調をたどり、独インフレ指標の上昇を受けて月末にかけ一段高。周縁国とドイツの利回りスプレッドは拡大に向かった。ワクチン接種率の上昇に伴うユーロ圏の景気回復期待は金利上昇圧力となろうが、欧州中央銀行の緩和長期化がサポートとなって、欧州国債利回りの上昇余地は限定的。

新興国ドル建て国債：リスク選好の動きが強まり信用スプレッドが縮小したのに加え、基準となる米国債利回りが下落基調をたどったことから新興国ドル建て国債は堅調。メキシコ、ブラジル、ロシアなど資源国のドル建て国債が買われたほか、中銀新総裁のインフレ抑制スタンスが好感されてトルコも堅調。グローバル景気見通しの改善は新興国経済にプラスに働き、資金フローはドル建て新興国国債の下支えとなろう。

通貨等

米ドル
プラス要因



- 新型コロナウイルスワクチンの普及と景気見通しの改善
- テーパリング観測と米長期金利の上昇
- インフラ投資や教育支援を中心としたバイデン政権の追加経済対策

米ドル
マイナス要因



- 新型コロナ変異種ウイルスの感染拡大やワクチン供給の遅延リスク
- インフレ期待の低下とFRBによる量的緩和の拡大
- 「米国雇用計画」や「家族計画」の難航

	2021/4/30	過去1か月	3か月	年初来
DXY	91.28	-2.09%	0.77%	1.49%
EUR	1.2020	2.47%	-0.96%	-1.60%
GBP	1.3822	0.28%	0.83%	1.11%
AUD	0.7716	1.55%	0.94%	0.29%
USDJPY	109.31	-1.27%	4.42%	5.87%
EURJPY	131.40	1.19%	3.36%	4.14%
CRB指数	199.76	8.00%	14.67%	19.05%
WTI原油	63.58	7.47%	21.80%	31.04%
CMX金先物	1,767.70	3.15%	-4.31%	-6.72%
VIX*	18.61	-0.79	-14.48	-4.14

*期間騰落は変化幅

米ドル：米金利の上昇一服を受け米ドルは主要通貨に対して軟調に推移、ドル指数は前月末比2%を超える下落となった。ドル円レートは月初の110円台から一時108円を割り込む水準まで円高が進んだ。ワクチン普及や追加経済対策による景気見通しの改善はドル高要因ながら、投資家のリスク選好とFRBの緩和長期化がドルの上値を押さえ、緩やかなペースでのドル高を想定する。

ユーロ：ユーロ圏の経済正常化期待と米金利の低下を受けて、ユーロの対ドルレートは3月末を底に上昇基調をたどった。ユーロ円レートは月末にかけ上昇し、約2年半ぶりの132円台を付けた。ワクチン接種の加速によりユーロ圏経済の正常化期待が高まり、ECBの追加緩和観測も後退しつつあることから、ユーロは底堅い値動きとなる見通し。

原油：新興国での感染爆発や米国のイラン核合意復帰に向けた動きが売り材料視され、原油価格は中旬にかけ上値の重い動きとなったものの、世界的な経済活動正常化期待や国際エネルギー機関による原油需要見通し引き上げを背景に、月後半の原油価格は上昇した。OPECプラスによる減産縮小やイラク核合意など供給増加が原油価格の上値を押さえ、目先レンジ内での弱含み推移を見込む。

金：米金利の低下を受けて月初より金価格は堅調に推移、その後、新興国での感染爆発でグローバル経済への懸念が高まる場面で金を買われて一段高となったものの、月末にかけては米金利上昇から金先物価格は反落した。実質金利の上昇は金価格の下押し要因で、金は上値の重い展開を想定する。

appendix

株式

1. MSCI World 株式
終値: 9,610.34 期間騰落率: +11.44% USD



2. S&P500 株式
終値: 4,181.17 期間騰落率: +12.57% USD



3. STOXX欧州600 株式
終値: 437.39 期間騰落率: +10.49% EUR



4. 独DAX 株式
終値: 15,135.91 期間騰落率: +12.68% EUR



5. 英FTSE100 株式
終値: 6,969.81 期間騰落率: +8.78% GBP



6. 仏CAC40 株式
終値: 6,269.48 期間騰落率: +16.12% EUR



7. TOPIX 株式
終値: 1,898.24 期間騰落率: +4.95% JPY



8. 日経平均株価 株式
終値: 28,812.63 期間騰落率: +4.15% JPY



9. 東証REIT指数 株式
終値: 2,063.80 期間騰落率: +11.77% JPY



10. MSCIマージン 株式
終値: 179,876.00 期間騰落率: +1.80% USD



11. 中国 上海総合指数 株式
終値: 3,446.86 期間騰落率: -1.04% CNY



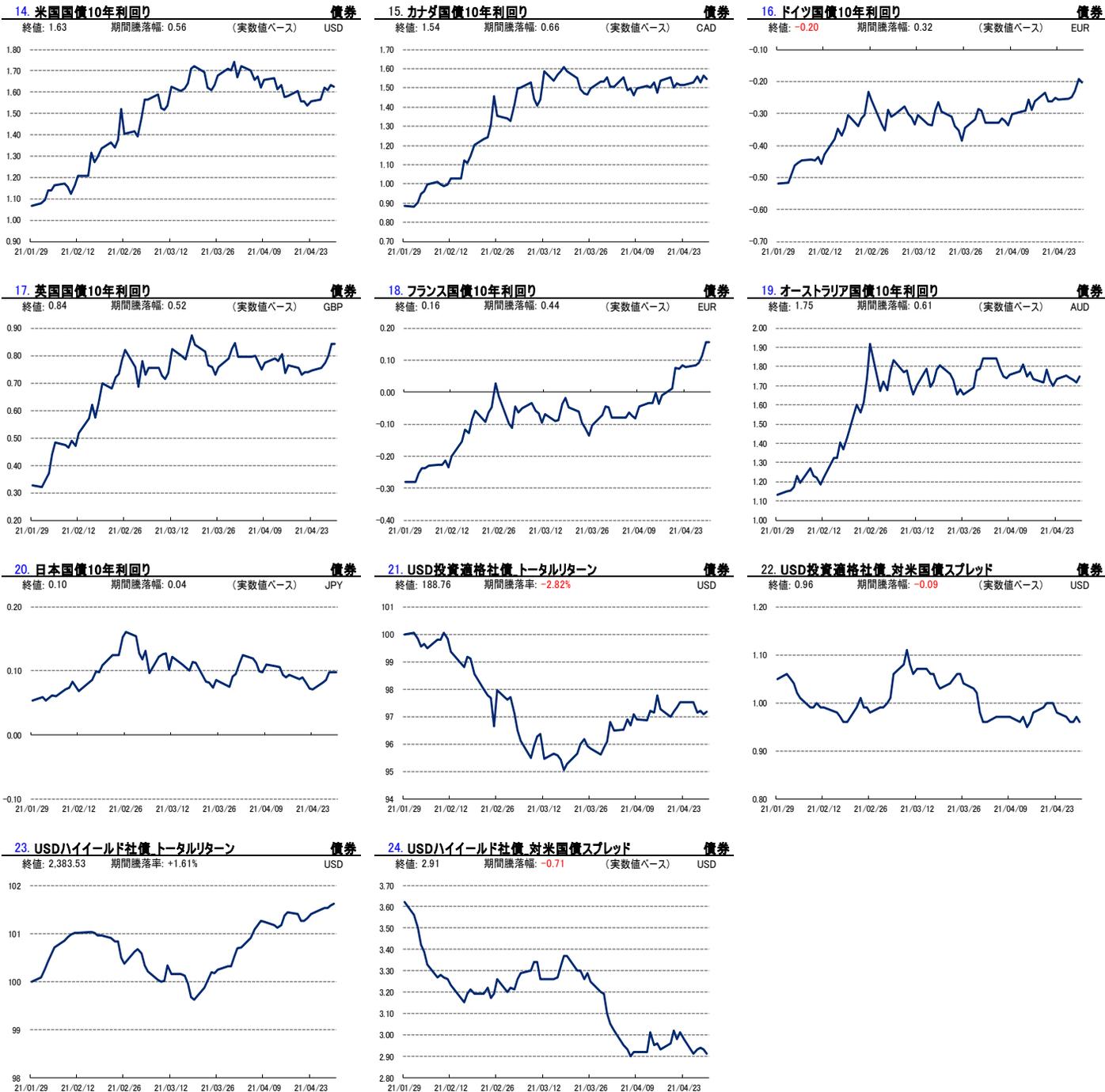
12. ブラジルボババ指数 株式
終値: 118,893.80 期間騰落率: +3.33% BRL



13. インドSENSEX30 株式
終値: 48,782.36 期間騰落率: +5.39% INR



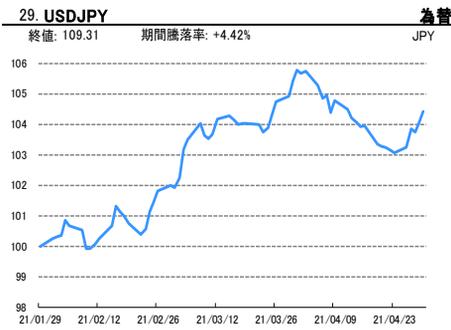
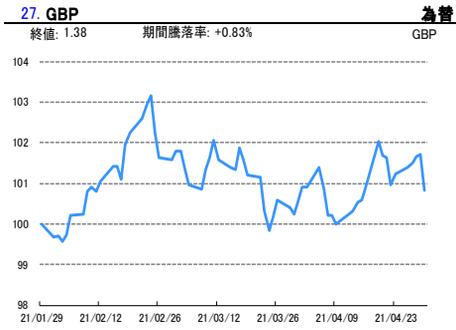
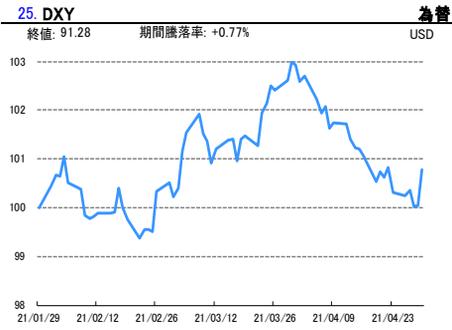
※ 直近3か月（2021年2月～2021年4月）の日足チャートです。起点（2021年1月末日）を100として指数化しています。
 ※ 各指数につきましては最終ページをご参照ください。
 ※ プルームバーグデータをもとに弊社作成。



※ 直近3か月（2021年2月～2021年4月）の日足チャートです。起点（2021年1月末日）を100として指数化しています(実数値ベース以外)。
 ※ 各指数につきましては最終ページをご参照ください。
 ※ プルームバークデータをもとに弊社作成。

appendix

為替/コモディティ/VIX



※ 直近3か月（2021年2月～2021年4月）の日足チャートです。起点（2021年1月末日）を100として指数化しています(実数値ベース以外)。
 ※ 各指数につきましては最終ページをご参照ください。
 ※ プルームバークデータをもとに弊社作成。

当資料のお取り扱いに関する留意事項、使用している指数等について

当資料は情報提供を目的としてPayPayアセットマネジメント株式会社が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当資料は当社が信頼できると判断した情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中に記載した内容、数値、図表等は、当資料作成時点のものであり、今後、予告なく変更することがあります。当資料で使用している各指数に関する著作権、知的所有権その他一切の権利はそれぞれの指数の開発元もしくは公表元に帰属します。なお、当資料のいかなる内容も将来の投資成果を示唆ないし保証するものではありません。

使用している指数は以下の通り（すべて現地通貨建て）

【株式】

MSCI World : MSCIワールド・グロス・トータルリターン・インデックス、S&P500 : S&P500種株価指数、STOXX欧州600 : STOXX Europe 600種株価指数、独DAX : ドイツDAX指数、英FTSE100 : イギリスFTSE100指数、仏CAC40 : フランスCAC40指数、TOPIX : 東証株価指数、MSCIエマージング : MSCIエマージング・グロス・トータルリターン・インデックス、中国 上海総合指数 : 中国 上海総合指数 (Shanghai Stock Exchange Composite Index)、ブラジルボベスパ指数 : ブラジル ボベスパ指数 (Ibovespa Index)、インドSENSEX30 : S&P BSEセンセックス指数 (S&P BSE Sensex Index)

【債券】

USD投資適格社債_トータルリターン : Bloomberg Barclays米ドル建て投資適格社債トータルリターン・インデックス、USDハイイールド社債_トータルリターン : Bloomberg Barclays米国米ドル建てハイイールド社債トータルリターン・インデックス

【為替等】

DXY : 米ドル・インデックス、EUR : ユーロ/米ドル 為替スポット、GBP : 英ポンド/米ドル 為替スポット、AUD : オーストラリアドル/米ドル 為替スポット、USDJPY : 米ドル/円 為替スポット、EURJPY : ユーロ/円 為替スポット、WTI原油 : WTI原油先物価格1番限、CMX金先物 : COMEX金先物価格1番限、VIX : CBOE S&P500ボラティリティ・インデックス

出所 : ブルームバーグ